

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	山梨県	市町村名	丹波山村
-------	-----	------	------

プロジェクト名	災害に強い村づくり事業	新規・継続の区分	継続
---------	-------------	----------	----

プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 災害時に倒壊する恐れがある公共施設の新築、改良を行う。現在では、庁舎、公民館を含めて災害時の拠点となりえる施設が村には無いため、順次公共施設の耐震化、建替えを実施していく。</p> <p>また、発災時には村全体あるいは、地区ごとの孤立が心配されているため、村内5地区に防災倉庫を設置し、外部からの支援があるまでの間、救命や生活に対応できる体制を整える。公民館耐震診断。予算的に対応できる地区より改修、補強を行う。</p> <p>(具体的な成果目標) ○災害時の救助、救命、捜索の拠点となり、避難者が1週間生活できる防災倉庫5箇所の設置 H18:0人 → 0 H19:480人 → H20:554人 → H21:776人 → H22:798人(全人口) ○丹波山保育所の解体撤去及び新築 震度6程度の地震があった場合の死傷者数:0人</p>		
------------------------	--	--	--

プロジェクトの期間	H19～H22	政策分野の分類 (①～⑪)	⑨安心・安全なまちづくりプロジェクト
-----------	---------	------------------	--------------------

住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/gyosei/pdf/ganbaru_prg.pdf		
----------------------------	---	--	--

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH20事業費)
防災倉庫設置事業	村内5箇所に防災倉庫を設置し、地区により通信設備の設置を予定	50,000
	H19 2箇所(丹波地区、鴨川地区2箇所)	
	H20 1箇所(保之瀬地区、災害時備蓄品、救護装備)	10,000
	H21 1箇所(奥秋地区) H22 1箇所(東部地区)	
公民館耐震補強事業	村内5箇所の公民館の耐震診断、耐震補強を順次実施していく。	50,000
	H19 1箇所(鴨川地区)	
	H20 1箇所(保之瀬地区)	
	H21 1箇所 H22 2箇所	10,000
総 計		100,000
		20,000

その他特記事項

その他特記事項

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	山梨県	市町村名	丹波山村
プロジェクト名	観光振興・交流プログラム	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 観光施設の植栽を行い観光産業の活性化を図る。所有者の高齢化が進んでいる、木材価格の低迷、森林への興味が薄れることによる山離れ等の理由により一部では風雪害を受けた倒木が多数放置される森林や、鹿による食害を受け、下層植生が育たずに山肌が露出し土砂の流出が進みつつある森林が顕著になってきている。そこで都市住民の方々にそのような民有林の現状に深い理解を示され、まずは森林の荒廃に歯止めをかけるべく、植栽にこだわらない森林整備をおこない丹波山村を知っていただくと共に参加した村民の生きがいとなるような事</p> <p>(具体的な成果目標) ○温泉施設利用者 ・H19:10万人 → H22:11万人 ○里山の保全・整備参加者数 ・H19:200人 → H22:300人 ○遊歩道2,200mの整備、除伐0.3haの実施。 ○森林巡回:年2回。</p>		
プロジェクトの期間	H19～H22	政策分野の分類 (①～⑪)	⑥観光振興・交流プロジェクト
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/gyosei/pdf/ganbaru_prg.pdf		
プロジェクトを構成する具体の事業・施策			
名称	事業概要	総事業費 (単位:千円) (うちH20事業費)	
サイン計画による看板、案内図の設置	・サイン計画を基にした、史跡等の看板、施設の整備 ・村内めぐりコースの作成	3,000	
		2,000	
村内観光施設植栽事業	・しだれ桜、イロハモミジ大型樹3本植栽する。	5,000	
		500	
鹿肉工場の建設	・新しい観光名産品の開発。	30,000	
		30,000	
丹波天平登山道整備	・台風や、鹿の食害により崩壊しかけている丹波天平の登山道の整備を実施。登山客の滑落等を防ぐとともに迷うことの無い登山道に整備する。	3,000	
		2,000	
サミットの森、東急ホテルズの森事業	・歩道整備:総延長2,200mの内、初年度は1,000mを敷設する。 ・伐出作業に備え、間伐未実施の箇所の内、県道より概ね30mを除伐する。 ・都内企業の社員と村民が協働して里山の保全、整備を実施する。 ・除伐された区域内約0.3haの比較的優良木、概ね10m ³ を伐出する。 ・境界確定、作業区域確定のための周囲測量を実施する。 ・年間2回程度の定期巡回及び、自然災害が予想時の巡回。 ・除伐・間伐・植栽。	300	
		100	
		41,300	
総 計		34,600	
その他特記事項			

(目次) 頑張る地方応援プログラム

都道府県名	団体コード	市区町村名	プロジェクト名称	プロジェクトの目的、概要 及び 具体的な成果目標	プロジェクト 期間	具体の事業・施策(名称)	具体の事業・施策 (事業概要)	事業費 (計画全体) (単位:千円)	事業費 (平成20年度) (単位:千円)	政策分野 の分類 (①~⑪)	新規・継続 の区分
山梨県	194433	丹波山村	災害に強い村づくりプロジェクト	(目的、概要) 災害時に倒壊する恐れがある公共施設の 新築、改良を行う。また、各地域に災害倉庫を設置し、 各地区が孤立した場合でも対応できる体制を整える。 (具体的な成果目標) 村内にある公民館のほとんどが、現在震度5程度の地震で も崩壊する恐れがあるため、早急に対策が必要。災害倉庫 5箇所の設置(災害時の救助、救命、捜索が出来、800名 が1週間生活できる設備)	H19~H22	防災倉庫設置事業	防災倉庫、災害備蓄品	50,000	10,000	⑨	継続
						公民館耐震補強	耐震補強対策事業	50,000	10,000		
						総 計		100,000	20,000		
						ホームページアドレス(ある場合のみ)					
山梨県	194433	丹波山村	観光振興・交流プログラム	(目的、概要) 観光施設の補葺、都市住民との交流会を開催し、丹波山村 を知っていただくと共に参加した村民の生きがいとなるよう な事業を実施。 (具体的な成果目標) 丹波山村サイン計画による看板、史跡地図の作成。観光 地植栽事業としてイロハカエデの植栽を実施。森林整備 は遊歩道2,200mの整備、除伐0.3haの実施。東急ホテルズ、(株)サミット等の企業連携による森林保全活動の実 施。	H19~H22	サイン計画による看板、案内図の設置	史跡等の看板、施設補修等	3,000	2,000	⑥	継続
						村内、観光施設植栽事業	温泉施設植栽	5,000	500		
						鹿肉加工場建設	鹿肉加工工場の建設、加工販売	30,000	30,000		
						丹波天平登山道整備	丹波天平登山道の改修	3,000	2,000		
						サミットの森、東急ホテルズの森事業	企業と共同で森林環境保全を行う	300	100		
						総 計		41,300	34,600		
ホームページアドレス(ある場合のみ)											
				(目的、概要)							
				(具体的な成果目標)							
				総 計							
ホームページアドレス(ある場合のみ)											
				(目的、概要)							
				(具体的な成果目標)							
				総 計							
ホームページアドレス(ある場合のみ)											

※1 「プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標」、「具体の事業・施策(事業概要)」欄は、個票から適宜要約してください。
 ※2 「プロジェクトの期間」欄は、プロジェクトを構成する事業・施策の計画年度をもとに記入してください。
 ※3 「政策分野の分類」欄には、以下の1~11のいずれか1つを記入してください。なお、複数の政策分野に重複すると考えられる場合は、各地方公共団体の判断により、最も近いものを記入してください。
 1 地域経営改革プロジェクト、2 地場産品発掘・ブランド化プロジェクト、3 少子化対策プロジェクト、4 企業立地促進プロジェクト、5 定住促進プロジェクト、6 観光振興・交流プロジェクト、
 7 まちなか再生プロジェクト、8 若者自立支援プロジェクト、9 安心・安全なまちづくりプロジェクト、10 環境保全プロジェクト、11 その他
 なお、「丸付き数字」等を用いず、「半角数字のみ」を記入してください。
 ※4 「事業費」欄は、総事業費を記入してください。
 ※5 「団体コード」欄には、6桁の地方公共団体コードを半角数字で記入してください。
 ※6 「新規・継続の区分」欄は、平成19年度に応募したプロジェクトの継続であるものについては「継続」に、平成20年度に新たに応募するプロジェクトについては「新規」にそれぞれ分類してください。
 なお、平成19年度に応募したプロジェクトの変更、追加、分割等を行った場合においては、おむね以下の例を参考として、各地方公共団体の判断により、「継続」又は「新規」に分類してください。また、「新規」の場合、応募する前に、その内容を住民に公表してください。

(分類例)
 (1) 事業費の変更 → 「継続」
 (2) 成果指標や事業・施策等の軽微な変更 → 「継続」
 (3) プロジェクト名の変更 → 成果指標や事業・施策等の実質的変更を伴う場合は、住民に公表した上で「新規」とし、その他のものは「継続」
 (4) プロジェクトの分割 → 成果指標や具体の事業・施策等の実質的変更を伴う場合は住民に公表した上で「新規」とし、その他のものは「継続」

※7 「ホームページアドレス(ある場合のみ)」の文字は削除した上で、ホームページアドレスを記入してください。